

No. 112

“มารุโกะโตะ” ส่องพากฟ้าเมืองไทย

ウォッチング

# まるごとタイランド

MARUGOTO WATCHING THAILAND

FOR THE FAMILY MORE PLEASANT IN THAILAND. ISSUED FOR 19 YEARS, SINCE 1990.

月刊「まるごとタイランド」112号

MARUGOTO WATCHING THAILAND

ISSN 0858-1436

VOL.19

NO.112



タイのハーブを究める！ アロマ・ケア完全ガイド 第二回  
エッセンシャル・オイルの楽しみ方と  
症状・目的別レシピを徹底紹介

妖精たちの村 パローン(グ)族 タイ鉄道の旅・南本線  
タイ女優の日本訪問記「山梨県」

200BAHT

日本販売価格 定価1,384円  
(消費税含む)



9 770858 141125

MARUGOTO MAGAZINE NO.112  
ISSN 0858 - 1436

20<sup>th</sup>  
Anniversary  
Marugoto Watching Thailand



屋根、ソファ、インテリアなどすべてがシャープな印象を与えるレセプション

## Fashionable Resort ～癒しの南国リゾートを訪ねて～

X2 KUI BURI  
X2 **グイ・ブリー**

### 直線的なフォルムと 石垣造りの個性的なヴィラ 静かな時間が流れるデザイン・リゾート



スタッフのユニフォームもコンセプト・カラーのグレーで統一している

バンコクとは一味違う  
太陽が照りつける

ギリギリとした太陽光線が肌を突き刺した。乾期に入って、朝晩は涼しくなり、過ごしやすくなったバンコク。日中の日差しもいくぶん穏やかになったような気がしていた。でも、バンコクから南へ一九〇キロメートルほど下った、ここフウア・ヒン「*Wua Hin*」の日差しは、違った。南国タイを実感させる、精力旺盛な太陽が僕たちを待っていたのだ。

列車でバンコクからフウア・ヒンまでやって来た僕たち夫婦と母は、リゾートの迎えの車が来るまで、しばし街の散策を楽しんでいた。古くからタイの人々のリゾート地として親しまれてきたフウア・ヒン。大きな街ではないが、たくさんホテルが建ち並び、いたるところで、欧米からの観光客を目にする。リタイア後の余生を送る地として、この街にやって来た人々も多いそうだ。また、漁港の街としても有名で、市場では新鮮な魚介類や日本人にとっては懐かしい香りを放つスルメが束になって売られている。バンコクにはない、のんびりとした穏やかな空気に包まれた街だ。

「静かで落ち着いた街ね。海の幸が豊富だし、魚好きのお父さんが来てたら、きつと気に入るでしょうね」と母。今回、仕事で父はタイに来ることができなかったが、母はやはり寂しい様子だ。ショップに出かけても、父への土産物ばかり物色していた。

これから向かうリゾートの周りには商店などが一切ないというのを聞いていた僕と妻は、ワインやハム、チーズなどをしっかりと買い込んだ。この街は西洋人が多いということで、そのような食材を売っている総菜屋さんがあるのだ。



1階、2階の部屋ともベッド・ルームになっている「スイート・プール・ヴィラ」



ヴィラの中の壁も石垣造りになっている



「オーナー・ヴィラ」にはキッチンが付いている



すっきりとした造りのバス・ルーム

「案外父好きな場所かもしれないな」と  
つい僕も父のことを考えてしまった。仕  
方がない。次の機会に連れて来ることと  
しよう。どうせ母が日本に帰った後、父  
に話して、来る気にさせることだろうし。  
そんなことを考えているうちに約束の時  
間になり、僕たちはリゾートの車が待つ  
ている場所へと向かった。

### グレーを基調としたおしゃやれな デザイン・リゾート

僕たちが宿泊するリゾートは、フウア・  
ヒンから八〇キロメートルほど南へ下った  
ところにある「X2リゾート・グレイ・ブ  
リー」。プラチニアアップ・キーリーカン  
「Jasanyathayin」の市街地からは一五キロ  
メートルほど離れている。このあたりは東  
にタイ湾があり、西はミャンマー国境に  
面している、ミャンマー国境と海までの  
距離が最も短くなる、タイで一番細い  
ところだ。

きれいに舗装された幹線道路を一時間  
ほど走っているとリゾートの看板が見え  
た。そこを左折し、細い道に入ると、赤  
土がむき出した道路に変わった。そこか  
しこで牛がのんびりと草を食んでいる。  
草原が広がり、小高い山が周りを囲む。  
本当に何も無いところに来てしまったよ  
うだ。ぼつんと、小さな集落があるばか  
りだ。

しばらく進むと、リゾートの入り口が  
見えた。レセプションは、低い直線的な  
屋根を持ったモダンな造りの建物だ。ソ  
ファも真四角、インテリアも直線的な  
造りのものばかり。丸みを帯びているも  
のといえ、奥にあるどっしりと根を張  
った大きな木だけだ。

チエック・インを済ませ、宿泊エリア  
に入って驚いた。長方形の積み木を置い



グレーとブラックを基調としたレセプション内部

たような、直線的なヴィラが並んでいる。  
すべてが鋭角的な造りになっていて、リ  
ゾート全体がとてもシャープな印象だ。  
レセプションのインテリアも含め、リゾ  
ート全体が直線の美しさで統一されてい  
るのだ。外壁は石垣造りになっていて、  
「ひんやり」とした空気が漂うようだ。  
輝く太陽が頭上になかったら、寒いと感  
じたかもしれない。南国タイだからこそ  
存在できる、クールな雰囲気のリゾート  
だった。

「ちよつと変わった感じのリゾートね。  
石垣で覆われたヴィラなんて、「コンセプ  
ト・カラーはグレーとブラック」だって  
車の中にあつたパンフレットに書いてあ  
つたけど、ホントにそうなのね。スタッ  
フのユニフォームもグレーだし。ここま  
で徹底していると、なんだか感心しちゃう  
わ」と妻。隣で母もきよきよきよしなが  
ら、うなずいている。  
予約していた部屋は「スイート・プー



タイ、イタリアン、フレンチなど各国料理が味わえる



レストランは海に向かって開けている



レストラン「4K」も直線的なフォルムを持った造り



鮮やかな赤とグレーのコントラストが美しいバー



大きな木が涼しげな陰を作るプール

ル・ヴィラ」という二階建てのヴィラ。一階、二階ともベッド・ルームになっていて、らせん階段でつながっている。よくあるリゾートなら、二部屋ある場合、どちらかがリビング・ルームになっていることが多い。でも、ここは珍しく二部屋ともベッド・ルームになっていて、どちらの部屋にもバス・ルームが付いている。上下の部屋とも全面ガラス張りの窓から目の前に迫る海が一望できる。

「ヴィラの中も石垣造りになっているのね。照明や折りたたみのテーブルとか、すごく凝っているし。年寄りにはちよっとおしゃやれすぎる部屋かな。デザイン・リゾート、ってこういうの言うのね」と母。父に自慢でもするのだろう、部屋の中をカメラで撮りまくっている。子供のようにはいしゃいでいる母の気に入った様子を見て僕は安心した。

部屋の前には、「プール・ヴィラ」という名の通り、プライベート・プールが付いている。当然のことながら、プールもきつちりとした長方形だ。僕は早速水着に着替え、ビールと文庫本を持ってプールに出た。僕がリゾートに来た時の一番好きな時間だ。妻と母はソファアに座って、楽しそうにおしゃべりしている。

今日は風が強く、波も高いが、この時

期のタイ湾はいつもこのような状態らしい。「ザザーン、ザザーン」という大きな波のうねる音が心地よいBGMとなって辺りに響き渡る。風のおかげでうっすらと汗ばんだ肌もすぐに乾いていく。ビールを半分ほど飲んだところで、僕は眠りに落ちてしまった。

**静かにジャズが流れる  
ビーチ沿いのレストラン**

目を覚ますと、辺りは薄暗くなっている、美しくライト・アップされたプールが視界にぼんやりと浮かんできた。いくぶん空腹感を覚える。

「やつと起きたのね。気持ちよさそうに寝てたわ。もう私たちはおなかペコペコよ。さっさと着替えて食事に行くわよ!」。母の声に僕は飛び起き、そそくさと着替えを済ませ、レストランへと向かった。母がこんなにも積極的になって、僕たちを先導することはこれまでのタイ旅行にはなかった。よほどのリゾートが気に入ったのだろうか、それとも父のいない寂しさを紛らわしているのだろうか。とにかく今回は母の気の向くままに任せようがよいようだった。

リゾート内唯一のレストランの名前は「4K」と書いて「フォーK」と読む、ビーチに面したオープン・エアのインター・ナショナル・レストランだ。緑り返すまでもないが、ここも直線的なフォルムを持つグレーを基調とした建物。隣にあるバーは真っ赤なライトが鮮やかで、グレーとのコントラストがきれいだった。

上品なジャズが静かに流れるレストランの中にも、ゆっくりと暗闇が入り込んできた。



# C & N Resort & Spa

C&Nリゾート・アンド・スパは、プライベートな雰囲気のパートン(グ)・ビーチを臨む美しい景色に囲まれています。私たちは便利で美しい設備と宿泊施設、食事、そして温かいサービスを提供します。お客様は、C&Nリゾート・アンド・スパに滞在したこの期間に、忘れることのできない経験と大きな感動を得ることでしょう。



## C&N Resort & Spa Patong Phuket

3 Sirirat Rd., Patong Beach, Phuket 83150 Thailand  
Tel : (+66)0 7634 5949-50, (+66)0 7634 5957-60  
Fax : (+66)0 7634 1895

www.cnhotelpatong.com  
E-mail : info@cnhotelpatong.com



スパも併設していて部屋の造りはヴィラと同じ

「せっかく早く来て来たんだから、お父さんには申し訳ないけど、おいしいものをたっぷり食べましょ。カクテルもたくさんそろっていいわね」と、食べることが大好きな母は、メニューをあれこれとめくって、オーダーを決めている。前菜、スープ、メイン、デザートそれぞれに、イタリアンやフレンチ、タイなどの各国の料理が含まれていて、オーダー

「するまでにかかなりの時間がかかってしまった。夜が更けてきて、涼しい風がレストラのなかに吹き込んできた。遠くでは、イカ釣り漁船の放つ緑のライトが点々と海を照らしている。」「今度はお父さんとどこに行こうかしら。日本人には知られていない穴場っぽい、いいリゾートがまだタイにはたくさんありそうね。来年でお父さんもリタイアするし、フウア・ヒンでしばらく暮らしてみるのもいいかも」と母が笑顔で話す。まったくいつまでたっても好奇心旺盛な母だ。母に振り回されるリタイア後の父の姿が思い浮かぶ。でも、いつまでも二人が元気でいてくれるなら、それもいいだろう。僕はそんなことを考えながら、遠くに輝く光を見つめていた。

### Resort Data

#### X2 KUI BURI

**Resort Address**  
52 Moo 13, Ao Noi,  
Muang, Prachuap Khiri  
Khan 77210  
Tel : 0-32-601-412  
Fax : 0-32-603-429

**Bangkok Sales Office**  
180/9 Level 3, Wireless Rd.  
(Sarasin), Lumpini, Pathumwan,  
Bangkok 10330  
Tel : 0-2-696-8239  
Fax : 0-2-696-8202  
E-mail : info@X2resorts.com  
Web : www.X2resorts.com



#### Room Rates

Garden Villa .....	5,000B-
Pool Villa .....	9,500B-
Deluxe Pool Villa .....	13,000B-
Suite Pool Villa .....	18,000B-
Owner Villa .....	30,000B-